

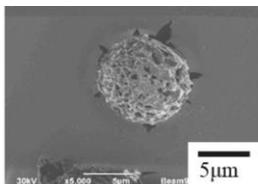
利用・用途・応用分野

医薬品分野、体内への吸収促進が求められる機能性食品分野、化粧品分野

目的・課題

界面活性剤の使用量が少なくても乳化効率がよく、乳化後に不溶物が残らない  
用事調整可能な自発乳化性組成物を  
提供することを課題とする。

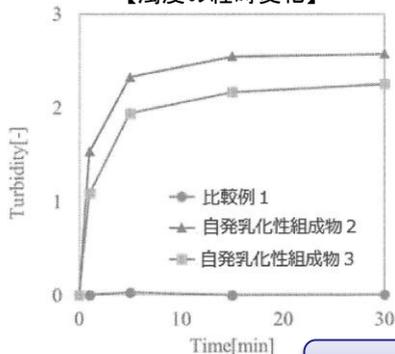
高分子多孔質粒子の走査型イオン顕微鏡写真



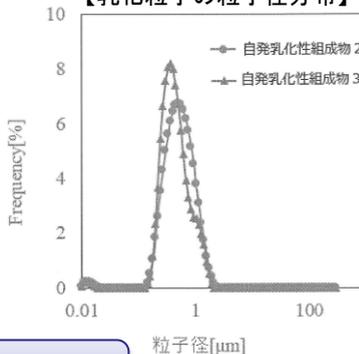
解決ポイント

- ◆多孔質粒子として親水性高分子を用い  
該多孔質粒子の細孔内に親油性物質を  
吸収させることで課題を解決できる
- ◆親水性高分子からなる多孔質粒子及び  
該多孔質粒子の細孔内に吸収されている  
親油性物質を含有する組成物が、  
用事調整用の自発乳化性組成物となる
- (I) 親水性高分子水溶液の液滴を凍結  
乾燥し多孔質粒子を調製する工程
- (II) 得られた多孔質粒子に親油性物質を  
含ませる工程を含む製造方法

【濁度の経時変化】



【乳化粒子の粒子径分布】



研究概要・アピールポイント

- ◆本自発乳化性組成物は、少ない界面活性剤で乳化可能であり、乳化効率が高い。
- ◆乳化後に不溶物が残らないため、生体内においても固体残存物を残さないで使用できる
- ◆使用時に水相に添加するだけで乳化させることができるので用事調整が可能である。
- ◆難吸収性薬物の水中溶解性向上及び粘膜吸収性促進のための製剤、又は経口、経鼻、経肺投与等の低侵襲性投与方法として医薬品分野で利用することができる。体内への吸収促進が求められる機能性食品分野、化粧品分野においても利用することもできる。

◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティー・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp